

令和元年6月

橋本市教育委員会定例会会議録

令和元年6月28日

教育委員会定例会会議録

開催日時 令和元年6月28日(金) 午後1時30分～

開催場所 教育文化会館 4階 第7展示室

出席委員 教育長職務代理者 米田 恵一
委 員 田中 敬子 中尾 悦子 吉田 元信
教 育 長 小林 俊治

出席職員 教育部長 阪口 浩章 教育総務課長 正林 寿和
学校教育課長 森口 伸吾 生涯学習課長 坂口 義治
教育相談センター長 林 民和 図書館長 榎阪 智子
学校教育課課長補佐 久保 真紀 学校教育課主任指導主事 吉久 寛郎
教育総務課長補佐 萱野 健治 教育総務課企画総務係長 岩坪 康夫

1 開会

2 前回会議録の承認について

3 会議録署名委員の指名について

4 報告事項

報告第1号 教育状況について

報告第2号 橋本市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

報告第3号 橋本市学校運営協議会委員の委嘱について

報告第4号 橋本市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について

報告第5号 岡潔記念館の現状について

5 付議事項

6 その他

協議事項

- ・熱中症対策について

7 閉会

開会 午後1時30分

教育長 これより教育委員会6月の定例会を始めたいと思います。

教育長 ただいまの出席委員は、全員です。

教育長 これより、本日の会議を開きます。

教育長 前回の会議録の承認について、米田委員お願いします。

米田委員 正確に記載されていました。

教育長 本日の会議録署名委員は、会議規則第26条の規定により、中尾委員を指名します。よろしくお願いします。

教育長 本日の審議事項は、お手元に配付の事項についてであります。報告事項に移ります。報告第1号 教育状況について、私の方から報告します。まず、5月末から6月初旬にかけて、12校の小学校で運動会が行われました。委員の皆様には訪問ご苦勞様でした。私も2校に行かせていただきました。印象に残っていることを述べさせていただきます。学校により違いはありますが、この機会を通じての集団づくりに力を入れていることが良くわかる運動会であったと思います。また、子どもたちもそれに応えて、大変頑張っていたと思います。地域・保護者との関連でも、多くの方が観覧し、保護者の方も準備や競技で協力的に取り組んでいただいたと思います。そして、特に印象に残ったのは、自分たちの学校愛を育もうという意識が強く感じられました。後ほど、委員の皆様のご感想をお聞かせください。

また、6月中に中学校全ての修学旅行が終わりました。どの学校も目立ったトラブルもなく、子どもたちも規律ある態度で旅行に参加していたとの報告を受けています。

6月初旬に教員評価で校長先生と面接をさせていただきました。各学校の本年度の学校運営方針や各学校の課題について報告いただきました。学校運営協議会の状況や職員の勤務の状況についての話が多く出ていたと考えます。職員の超過勤務につきましては、勤務時間チェックシートを用いて超過勤務時間削減に向けて取り組んでいます。学校によっては効果が出ているところもありますが、まだまだ効果が出ていない学校もあります。中学校については、部活動指針の影響もあり、勤務時間削減に効果が出ていますが、今後も検討が必要であると考えています。その中で「帰れない先生」と「帰らない先生」がいるという、ある校長先生の話が印象に残っています。

続いて、5月31日（金）に開催されました、県市町村教育委員会連絡協議会の総会・研修会へのご出席ありがとうございました。

また、6月議会は本日閉会となりました。一般質問につきましては、高本議員

から「コミュニティバスの利用について」、阪本議員から「LGBTの理解と支援・人権教育について」、小林議員から「学文路地区公民館について」、「橋本市運動公園プール利用料金について」、樽井議員から「運動公園の再整備について」、岡議員から「橋本市陸上競技場の公認更新について」、「旧橋本給食センターの跡地利用について」、板橋議員から「スクールサポートスタッフについて」、田中議員から「本市の債権について」、「前畑・古川両氏の顕彰及び大河ドラマ放映による本市の効果について」、堀内議員から「旧学文路中学校跡地利用と周辺整備について」、辻本議員から「次代の橋本市を担う子どもの命を守るために」の質問がありました。答弁の内容につきましては、次回の定例会で報告させていただきます。

以上で教育状況の報告とさせていただきます。本日はご苦勞様です。

教育長 教育状況の報告について、ご質問、ご意見ございませんか。

米田委員 小中学校の運動会にお邪魔させていただいて、驚いたと言うか、素晴らしいことを経験しました。橋本小学校で、終わってから礼状と何時こんな催しがありますという手紙をいただきました。先週いただいた冊子「Educo」に徳島県の「感謝する心を育てる」というのが載っていましたが、まさにそういうことだなと。この小学校の校長先生が営業マンであったら、トップセールスになること間違いなし。手紙の効果を良く良くご存知で、素晴らしいことだと思いました。

教育長 他にございませんか。

吉田委員 城山小学校、あやの台小学校、柱本小学校に行かせてもらいました。規模は城山とあやの台がほぼほぼ同じで、柱本が少し小さい。感じたことは、どの小学校も地域の保護者を取り込んで一体的に活動しているのは見られるところですが、柱本小学校で規模が小さいながらも保護者の距離が、原因はわかりませんが、あるように思いました。校長先生の問題ではないとは思いますが。結構積極的な校長先生です。

一方、あやの台は規模が大きいながらも保護者との距離が小さい。好印象として持ちました。比較的長い時間見させてもらって、最後のダンスまで見させてもらったので余計かも知れませんが。以上です。

教育長 他にございませんか。

中尾委員 毎年運動会を見させてもらっていますが、子どもの一生懸命がんばっている姿が、自分自身を元気付けられるので、行かせていただいて、ありがたいなど。あいさつで紹介していただくのですが、そういうのがなければ、もっと気楽に見せていただけるのですが。今年は、長い連休があったのに、1年生も一生懸命やっている姿が印象的でした。応其小学校と高野口小学校でした。

教育長 他にありませんか。

吉田委員 6月14日隅田小学校で白胡麻の胡麻まき体験ということで、総合学習の一環で、共育コミュニティで展開していければいいかなと、最初の第一歩を踏み出させていただきました。市役所からプレスリリースしていただいて各紙とりあげていただいて、これについてももう少し前に進んでいければ良いと思います。

教育長 他にございませんか。

教育長 ないようですので、報告第2号に入らせてもらいます。

教育長 報告第2号 橋本市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について報告願います。

学校教育課長補佐 就学上の適正を検討判断することが目的の教育支援委員会です。委員の任期は2年任期のところ、年度末人事異動等に伴い、委員に変更ができましたので報告します。

なお、今回新しく任命した5名の委員の任期は、前任者の残任期間となっています。報告は以上です。

教育長 報告が終わりました。ご質問等ございませんか。

教育長 ないようですので、報告第3号に入らせてもらいます。

教育長 報告第3号 橋本市学校運営協議会委員の委嘱について報告願います。

学校教育課主任 学校運営協議会は本年度から規則により、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことを目的として、実施しています。

指導主事

つきましては、各学校から推薦があった185名を学校運営協議会委員として委嘱したので報告します。

教育長 報告が終わりました。ご質問等ございませんか。

吉田委員 前日会でもお話ししましたが、協議会規則では、各小学校単位で共育コーディネーターを必ずしも入れることにはなっていませんが、お願いでも良いので、共育コーディネーターが各学校に入っていることが大事だと思います。学校側が無理ですと言えばしょうがないですが、できれば加えていただきたいと思いますが、いかがですか。

学校教育課長 意見として聞かせていただきます。学校に必ず入れなさいというのは現状では難しいと思いますが、各地域の重要なキーマンだと思いますので、今後、生涯学習課との連携も重要になってきますので、意見として聞かせていただきます。

校長先生たちが、この方たちが今の学校運営に一番力を貸していただける方だとご推薦いただいていますので、そちらを尊重して、今年度は取り組んでいただきたいと思います。

教育長 他にありませんか。

米田委員 2点あります。市議会議員の岡さんが入ってらっしゃいます。商工会のことで言いますと、かつらぎの商工会の副会長さんが町会議員になられて、副会長を降りました。かつらぎ町から商工会に補助金が出ていますので、公私混同に見られてはいけないということで。全体の学校を見る場合は市議会議員は良いのですが、私人として入っているのでしょうか、備考に「市議会議員」と書いてしまうのはどうかなと思います。ややこしい公職の方は、本来入るべきではないと思います。権限のある方がひとつの学校に入ってしまうのはいかななものかと思えます。

もうひとつは、原則10人以内ということですが、民間の会社で10人採用のときに12人採用すると2人分お金がかかります。10人以内に抑えられなかったのは、校長先生の気持ちが弱いのかなと。これから運営していく上で少し心配です。

学校教育課長 1点目の市議会議員ですが、城山小学校にも小西議員が入っています。市議会議員という役職ではなく、地域有識者ということで、今後表し方を改めていきたいと思えます。

人数につきましては、学校長会議等でもかなりお話をしました。人数を絞っていくときに、2年間で移行期間で、規則によらない学校運営協議会をやってきました。それ以前は学校評議員や学校関係者評価委員など学校に関わってくれる方がたくさんいましたので、一気に10人に絞りにくいというのがあったので原則としています。委員会としては将来的には10人以内で委嘱していきたいと考えています。

米田委員 3つの学校、隅田小学校、あやの台小学校、城山小学校ですね。気になります。

学校教育課長 条例によって年額5,000円の報酬を支払います。おっしゃるように人数をきっちり絞るのは当然だと思います。

教育長 他にありませんか。

教育長 報告第3号 これで終わらせてもらいます。

教育長 報告第4号 橋本市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について報告願います。

生涯学習課長 公民館運営審議会委員については、現在15名。そのうち4月の異動、校長会からの選出によりまして5名が委嘱替えとなります。現委員の任期は、平成30年6

月1日から令和2年5月31日までですが、今回の5名は残任期間となります。5名のうち1名は市の校長会からとなります。あと4名は各地区公民館の運営委員さんの交代によるものです。以上です。

教育長 報告が終わりました。ご質問等ございませんか。

田中委員 お一人だけ副運営委員長さんがいらっしゃいますが。

生涯学習課長 各公民館からの推薦です。

教育長 他にありますか。

教育長 報告第4号 これですべて終わらせてもらいます。

教育長 報告第5号 岡潔記念館の現状について報告願います。

生涯学習課長 岡潔記念館の現状について、別紙でお配りしている資料をご覧ください。

まず、記念館の設置目的ですが、世界的数学者岡潔博士を生んだ橋本市で、「算数・数学が楽しい」、「算数・数学がおもしろい」と感じる子どもたちが一人でも多く育つよう数学教育の推進を中心に、文化を育むまちとなるよう進める。その一環として、岡潔博士を顕彰する意味合いで岡潔記念館を設置することが目的です。

取組状況ですが、平成12年に市制50周年記念事業の一環として、橋本市の偉人や名誉市民を顕彰する意味で記念館設置の方針が決まりました。平成21年8月に橋本市岡潔数学WAVEが設立。平成23年6月にまちづくりの一つのシンボルとして岡潔記念館を杉村公園内に建設する方針が示されました。平成25年度に岡潔顕彰基金を設立。平成27年度に杉村公園内にある「松林荘」を改修し、岡潔記念館とする案が浮上しました。平成28年度に基金を募る方法としてクラウドファンディングを始めています。しかし、松林荘の改修に多額の費用がかかることが判明し、その案は断念せざるを得ないということになりました。平成29年12月に紀見峠区の民家を地元で借用、改修し、記念館とする案が浮上しました。平成30年4月に岡潔記念館開設小委員会、具体的には紀見峠区、橋本市岡潔数学WAVE、教育委員会という構成ですが、その小委員会で民家を活用する案を検討することになりました。10月になりますと、民家の改修に多額の費用がかかること、また使用に際して、所有者の方から条件の提示があったことから、この民家の利用は困難と判断いたしました。1月になりますと、紀見峠区の別の物件ですが、民家を地元で借用・改修し、記念館とする案が出てまいりました。この案について、同じように検討を進めたところ、記念館としてスタートする方向で協議を進めているところです。紀見峠区、数学WAVEと連携しながら、まずはスタートしたいという状況です。

あと、基金の残高を資料に載せております。

今後色々な取り組みの中で方向性が現れてくると思います。委員会の中で報告し

ていきたいと思います。なお、今回の物件については、明日関係者で下見を予定しています。よろしくお願ひします。以上です。

教育長 報告が終了しました。ご質問等ございませんか。

吉田委員 教育委員会関係の施設で検討になっているものについては、報告だけでも良いので、頭の中に入れさせてもらえておけば非常にありがたい。これはあくまでお願いですが。

古民家についてですが、岡潔さんと関係のあるものですか。

生涯学習課長 岡先生の生活された場所の近くですが、直接の関係はありません。

吉田委員 紀見峠に何か建物が必要であるのであれば、今後の維持管理、運営費、人件費、アクセスが非常に大変だということから考えて、しんどいであろうと。既に杉村公園の中を検討されてきたのも取組経過を見させてもらってよくわかりました。予算がないと教育長がおっしゃられますが、博物館ということであれば、岡潔、前畑さんについては、郷土資料館に関係資料がかなりありますので、一体的に展開するのが効率的であろうなど。最初は杉村公園の中で、と考えられていたのは良くわかります。紀見峠という場所は、見晴らしが良いのはわかります。展望台というならわかりますが、そこで記念館というのはかなり無理がある。

調べてみましたが、内閣府から地方創生の予算もあります。億のお金ですが、半分は市で持たないといけない。何らかの方法で寄附を集めるなどしないといけない。地域を活性化させる意味合いも出てこないといけない。ここは踏ん張ってもらって、郷土資料館も含めて、前畑さん、古川さんもひっくるめて考えていくことではないかかかと思ひます。今の方向は、決してそういう方向になっていない。分散すると、地域活性、人を呼び込むという意味ではマイナスになるのではないかと思ひます。

地域の気持ち、数学WAVEの気持ちはわかりますが、後々のことを考えると、認めていくことは教育委員会にとって間違いなくお荷物になるだろうと。再考された方が良いのではないかと感じます。

教育長 このことについてどうですか。

生涯学習課長 市内部、数学WAVEも地元のあの場所だというのは、全会一致ではございませんが、基金が設置されて10年近くなるということで、少しでも寄附を活かしたいという意見が多数を占めましたので、現状の報告にはなりますが、そのような報告をさせてもらいました。これが記念館になるのか規模として資料館的なものになるのかは、これから考えていかないといけないのですが、まず一歩進めたいと。これができれば目的が達成するというのではなく、今後もっと発展的な、ひとつの案として、柱本小学校の空き教室を活用して、そこを拠点とする考えも会の中にあるのも事実ですので、そんなことも含めて協議を進めていけたらと思ひます。

吉田委員

繰り返しになりますが、郷土資料館の中にある資料に岡潔さん関係も結構含まれていると思うんです。将来、古民家がどう活用されるのか今の状況ではわかりませんが、それこそ郷土資料館どうするのって感じがしないでもないです。何度かお話をさせてもらっていますが、郷土資料館をどうやっていくのかも含めて関係してくる。前畑さんだってそうだと思います。将来展望は絶対必要なことだと思います。

中尾委員

目的のところに、「算数・数学が楽しい」、「算数・数学がおもしろい」とあります。岡潔が数学者で算数・数学で有名というのはありますが、自然の中で子どもを遊ばせるべきだと言っていると思うんです。行き着いたところが数学かも知れないですが、人も自然の中で育つんだ、人間が育てるのではないというところ、数学だけじゃなくて、もっと大きなところから目的を入れて欲しいと思います。

私は金子みすゞの記念館を思い出したのですが、山口県の仙崎という所で、そんな便利な所ではないですが、いつも誰かが訪れている記念館で、金子みすゞの記念館を見てみたいのではなく、金子みすゞが育った所、生活をした所を見てみたいという気持ちで私も行ったのですが、その人の存在が感じられるような所、紀見峠に行ったときに一致するものを感じたんです。

もちろん、金子みすゞも自然を愛する詩をたくさん作っています。命の大切さ、子どもの優しい眼差しというか、そういったところが岡潔と一致するようなところがあって、金子みすゞ記念館は金子みすゞの記念館だけがあるんですね。そういう意味で、大きな博物館が無理なら、発想を変えて、その人が生活したであろう、考えたであろう、池にぼちちゃんと石を放り込んで一日中ぼうっとしていたとか、そういう所を何気なく訪れて、岡潔に浸るというのも、その建物だけでなく地域全体が岡潔の記念館と考える発想もありではないかと思います。

紀見峠地区の敷件が頑張ってくださいますが、その人たちだけのものではなく、市民全体がその地域を愛していかないといけないと思うので、その地域ばかりに任せるのではなく、そういった形でいけば何らか維持はしているんじゃないかなと。

交通の便については、考え方によって、バスを1日1回走らせるなど、何らかの方法があるので、違う所に建てるのではなく、そこを訪れて欲しいと思います。古民家は使い方によって記念館になるんじゃないかなと思います。

田中委員

私は、保護者の立場としたら、吉田委員のひとつですべて学べるというのは良いと思います。数学WAVEの活動は、小学生を対象に学ぶことの楽しさを教えてくれているので、今後、この記念館、古民家でこういった活動をするのか気になります。子どもが通うのであれば交通の便は大事になることなので、まずは、数学WAVEがこういった見通しがあるのか、きっちりお示しいただいて協議をしていく方が良いと感じます。

教育長

岡潔数学WAVE夏期講座というのを毎年小・中・高を対象にやっていただい

ています。算数・数学オリンピック、この事務局長も橋本市出身です。講演も毎年行っています。秋山仁さん、東京理科大の副学長ですが、東京理科大にある算数・数学の実験具を寄附したいというような話もあります。色々な人の動きがあります。明確には言えませんが。

それと、吉田委員言われた国の補助というのは、博物館についてはありません。私も、運動公園の件で、東京の toto に行って、事務局にどうにかして欲しいとお願いをしてきましたが、例えば6億円の工事をするとすれば、基本は1/3補助。最大1億円。仮に6億円の工事をするとしたら、補助金1億円、市単が5億円となり、なかなかついて行き難い。

吉田委員 地方創生は半分です。

教育長 今のは toto の例です。郷土資料館については、自分達でも本腰を入れて市に提案していく時期が来ています。郷土資料館もこのままにできませんので、自分達のビジョンを持って行く時期が来ていると思います。

岡潔記念館につきましては、紆余曲折、数学WAVEと議論を尽くして、ここが今の到達点ということで、一定ご理解をいただいて、また今後進めるときに報告させていただく、ということによろしいでしょうか。

吉田委員 古民家というのもひとつかも知れないけども、景色うんぬんを言うのなら、例えば東屋とか。確かに見晴らしは良いと思いますが。場所を否定している訳ではないですが、そこに建物を認めてしまうと、後々お荷物になるであろうと。予算がどんどん削られる中で、どうやって生み出していか考えていけないといけない。お客を呼び込んで、何かを地域に落としてもらうことを考えた場合に、アクセスが悪く離れているのは考えないといけない。

米田委員 私もそこが気になるところで、最初の設置目的の「算数・数学がおもしろい」と感じる子どもたちを一人でも多く育てる環境を作る、その一環として記念館を設置するという目的はいまだに変わっていないんですね。

記念館の位置付けは、学術的なために使うのか、それとも観光も視野に入れての記念館なのか。そこを整理しないと先に進めないです。

記念館ができたとして、何のためにそれをするのですか。それによって選定する場所が変わってきます。

生涯学習課長 記念館として物を展示する部分と、岡潔先生の暮らした情緒的な部分を合わせて、先生の偉大さ、生活感、これまでの偉業を感じてもらえるような場所と言いますか。そういったものを知ってもらいたい。

米田委員 前畑さんじゃないけども、それでもって橋本市を認知してもらって、橋本市にいっぱい来てもらう、その一環と認識して良いのですか。

教育部長 基本的に教育委員会が偉人を顕彰するために考えている事業です。そこに数学WAVEさんという市民団体が歩調を合わせて進めています。

まず、観光という概念は大きくないです。たくさんの方に見に来てもらうのは素晴らしいことですが、観光が狙いでやっている訳ではないと私は思っています。

当初、数学WAVEさんは、岡潔先生の偉業だけが見れる資料の展示だけでなく、数学教室であったり、子どもたちが学べるような複合的な記念館というイメージを持たれていました。ただ、経緯の中で、大きな構想であったのが、徐々に場所や予算の問題があり、現在のところに来ているのかなど。今の現状では、子どもたちがたくさん来て学べる環境はなかなか難しいです。まずは資料を展示して、訪れた人々に知っていただいて、さらに関心を持ってもらうという狙いになってきていると思います。

米田委員 それでしたら、吉田委員言われたように、お金はそこでは生み出せないですね。

教育部長 市民団体さんが一生懸命これを運営していこうと考えてくれていますので、市民の皆さんの知恵で何かしらお金を生み出せるものが出てくることもあると思います。

米田委員 最終的に行き詰ったときに、市がお金を出すのかなど考えておいた方が良くと思います。テレビで2時間放送がありましたよね。ああいうビジネスチャンスがあったのに、何も使わなかったですね。お金をかけて前畑をやっていますが、お金をかけずにやってくれたのに、なぜ活用できなかったのか。

田中委員 数学WAVEさんではドラマの宣伝をされていましたが、ちょうどテレビをやったときに、橋本市の名誉市民第1号なのに、もう少し取り組みがあったら良かったと思います。今後の運営がすごく心配される場所なので、会自体がどういう活動をしていくのかしっかり聞いていかないといけないと思います。

米田委員 私達の血税が大なり小なり流れていく可能性がある訳ですから、できてからどう運営していくのか、赤字を出さない運営方法をイメージされているのでしょうか。

中尾委員 私は文化ではお金儲けはできないと思います。隣の五條市に立派な博物館があります。友人がボランティアをしているので、中を見ましたが、あれを維持していくのに年間3,000万円近くかかるそうです。お客がたくさん行っている風でもないですし。文化的なことでお金儲けはできないと思います。

米田委員 民家を借りればランニングコストがかかります。お金を儲ける必要はないですが、赤字にならないようにしないと。後でお金をつぎ込まないといけなくならな

いか心配しています。

吉田委員 文化と経済というのは、経済で儲けたものを文化につぎ込むと。アメリカでは経済で大儲けした人が文化につぎ込んで名を得る感じですが、橋本市においては、なかなか文化が育っていない。郷土資料館の、高野山の真言密教の民族学的な代物はすごく大事なものがあります。その価値がわかってもらえていない。郷土が排出した偉人を顕彰することを含めて、人を呼び込める、地域を活性化できる、何かしらの地域活性化の意味合いがあつての商業活動が出て来ても問題はない。そういう発想が橋本市では大事だと思います。橋本市においてどういう風に維持管理をしていくのかがまさに知恵の見せ所だと思うし、数学、プログラミング教育が出てきているのですから、一体的に学習できる施設を併設するという考え方は大事だと思います。知恵を出して、良い形の展開はまだできるわけですから、お願いしたいと思います。分散したら力がどんどん弱くなるばかりです。

教育長 答弁はよろしいでしょうか。意見としていただきます。

教育長 他にないでしょうか。

教育長 ないようですので、報告第5号を終らせてもらいます。

教育長 本日は付議事項はございません。その他に移ります。何かございますか。

田中委員 そろそろ暑くなってきましたので、中学校のクラブ活動が大変になってきますので、お願いですが、校長、教職員の方に熱中症等がないように、水分補給、休憩の念押しをしていただければ。

学校教育課長 今週月曜日に校長会がありまして、長期休業前の諸注意ということで、部活動、自由水泳のときは特に注意してくださいと言っています。今年度小中学校に熱中症指数計をどの学校にも配置しています。それをひとつの基準に、子どもの健康管理をして部活等を実施してもらうように周知しています。

教育長 熱中症指数計は実施する所で計って、駄目なときはプールも部活動も中止しますので、ご理解をお願いします。

教育長 他にありませんか。

教育長 これもって、令和元年度6月教育委員会定例会を閉会します。

(午後3時00分)

署 名 委 員